

アメリカの大統領だった人物を「地味な人」と言うのもおかしいが、(1) 第30代のクリッジは無口にして①ムイ(無為)の人として伝わる。現職の急死で副大統領から②ショウカク(昇格)した。1920年代の米は空前の繁栄を③謳歌(おおか)し、何もしなくても経済は踊った▼動かず、語らずで「サイレント」とあだ名され、④ショウサン(称賛)か⑤揶揄(やゆ)か「何もしないことを芸術の⑥イキ(域)まで高めた」などと評されたのを前にも紹介したことがある。その人の名がここに残っていたかと、オバマ大統領のキューバ訪問で知った▼クリッジ以来88年ぶりの、現職米大統領の訪問となった。88年前といえば日本は昭和3年。遠さがわかる。⑦カサ(傘)をさして夫人や娘2人と専用機から降りたオバマ氏は、自らが言う「歴史的な一歩」を、かつて激しく敵対した地にしるした▼⑧奇(く)しくもオバマ氏は、両国が国交断絶した61年に生まれた。米ソが(2) イツシヨクソクハツとなった(3) キューバ危機は翌年に起きる。カリブ海に浮かぶ島は、社会主義陣営が米国に突きつけたナイフに例えられてきた▼長い敵意の歴史は、(4) 二つの「利益」をテコに動いたといえる。経済を立て直したいキューバと、後世に残す大きな遺産(レガシー)をつくりたいオバマ氏。双方に⑨思惑(おもわく)があり、越すべき課題はなお多いが、世界はおおむねこの「握手」を⑩カンゲイ(歓迎)する▼現地では、世界遺産の旧ハバナ市街を歩くオバマ一家に「USA」のかけ声も飛んだそうだ。新しい世代が新しいたいまつに火をともしたと思いたい。風雨でかき消えないことを願う。

〔2016年3月22日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 オバマ氏は、第(44)代の大統領だ↑( )内に数字を書き入れよう。

※ヒント…( )内の数字は、今回の何年ぶりの訪問の半数である。

問三 傍線部(1)の人物にあてはまらない内容の選択肢一つを○で囲もう。

ア アメリカ独立記念日(7月4日)に生まれた。

イ ラジオ演説を行った初の大統領。

ウ 「必要以上の税を集めるのは合法的強盗である」

エ 「核なき世界」への働きかけでノーベル平和賞を受賞した。

問四 傍線部(2)を漢字で書き、その意味を答えよう。

・漢字…(一触即発)

・意味…(ちよつとさわれば、すぐ爆発しそうな危機に直面していること。)

問五 傍線部(3)を解説した次の文章の( )に適する漢字一語を書き入れよう。

・1962年10月、米ソが全面(核)戦争寸前まで達した危機的状況のこと。

問六 傍線部(4)の利益を、キューバ側と米国側それぞれ漢字2字で答えよう。

・キューバ側の利益…(経済) ・米国側の利益(遺産)

問七 次のそれぞれの年の発表された小説を語群から選り記号を書き入れよう。

・1928(昭和3)年(エ) ・1962(昭和37)年(イ)

〔語群〕ア『吾輩は猫である』 イ『砂の女』 ウ『羅生門』 エ『放浪記』

問八 見出しを15字程度で付けよう↓(米大統領88年ぶりキューバ訪問)